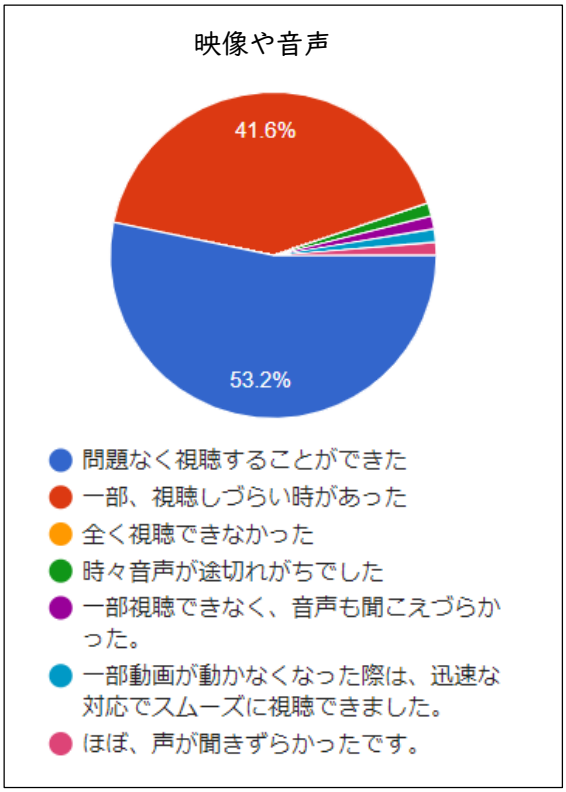
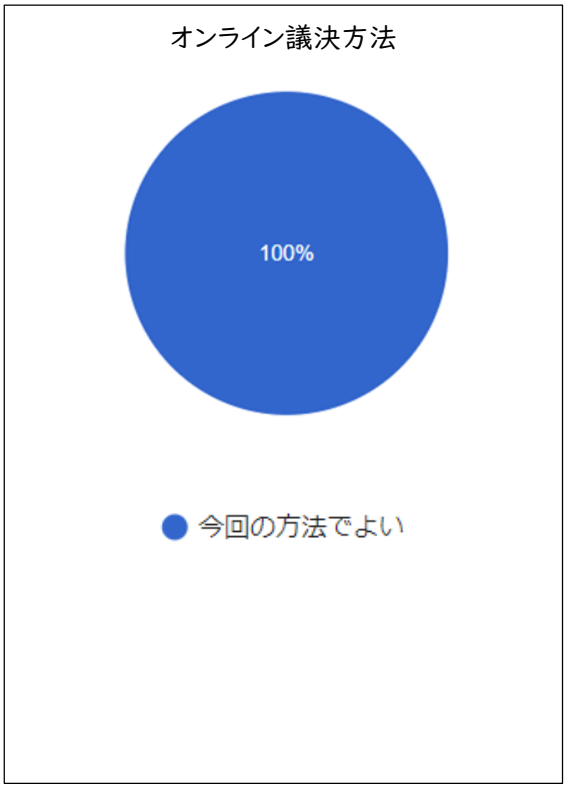
令和6年度沖特研 記念講演および総会　アンケートの結果

研修会の平均評価 ： 4.38／5

オンライン参加者91名（一端末につき複数視聴含む）、来校者78名、委任5名





【研修会講師へのご感想・ご質問】

・通常学級の先生の対応に温度差があるのを感じます。その先生方への研修の時間や理解をどう伝えるのか課題に思います。

・基本の理解が大事だと改めて感じました。特別支援コーディネーターとして、自分だけでなく周囲への知識を広めていく必要があることは分かっていたものの、どうやるのが効果的か、やりすぎて面倒に思われるのではないかと不安が先立ってしまっていました。負担にならない方法を管理職とも相談して実践していきたいです。

・子どもたちにとって必要な学びがあるということは、とても大事だなと感じました。しょうがいのある子もない子もインクルーシブ教育もありますし、お互いに理解しながら、教育に携わりたいなと感じました。今日は、貴重な講演会をありがとうございました🙇☺

・それぞれの立場でできることを考え、取り組んでいくことが大切だと改めて感じました。チェック表を活用して、支援や配慮、自身の立ち回り等を振り返り、今後の支援につなげていきたいと思いました。また、支援担当だけでなく、通常学級担任や他職員、他児童への理解を広げたり、深めたりすることが、インクルーシブ教育への推進につながっていくと感じました。一人ひとりに合った教材や学習方法を考え、実践していこうと思いました。どの子も安心して学べる学校、学級づくりに努めていこうと思います。

・支援学校対象児が保護者の希望で地域の学校に通学することになった場合にも一学級 8 人の定数にすると、担任一人ではとても難しいです。今後の人数の検討を期待しています。

・特別支援教育に係る知っておくべき内容が網羅されていたので、盛りだくさんの内容ではあったが、参加してよかった。「適切な学びの場の見直し」について要所要所で強調されておられたが、まさにそのことを教員だけではなく保護者にも理解を図っていくことが重要だと感じている。早い段階から適切な学びの場を保障することで支援学級から通常学級へ卒

級することも可能となるが、特に自閉・情緒に課題のある子は適切な対応がなされなければ２次障害に陥るリスクも高いため、今後は適就において該当する児童の保護者には今まで以上に丁寧な説明を心がけたいと思う。
・大変分かりやすく勉強になりました。特に求められる教師像について、具体的に教えていただき、私自身も勉強になったと同時に、これから若い先生方の育成についても参考にしていきたいと思います。
・就学先の決定の件で、今関わる児童が、通常学級を希望してるので、その辺りがまだまだ自己決定ができない状況なのを感じています。
・強度行動障害の子が年々増えている気がします。これは全国的なものでしょうか。より良い対応方法を知りたいです。
・ありがとうございました。私は昨年度から特別支援担任を初めました。加藤先生も、当時、通常学級の担任から特別支援の担任になるときに不安があったとおっしゃっておりましたが、私も同じでした。何で私が !! と強く感じてしまったのが事実です。しかし、蓋を開けてみると、個別対応ができ、子供と向き合う時間がたくさん持てることにやりがいを感じることができ、この先の教員生活は特別支援のままでもよいのでは、と感じるようになりました。奥が深く、まだまだ学ぶべきことが多いです。加藤先生の講義を受け、この立場で仕事をしていることに自信を持つことと同じ感じ方を持っている先生方と一緒に仕事ができる喜びを毎日感じていきたいです。今日はありがとうございました。
・理念から現状、方向性、教師像と、とても分かりやすくご講話いただき、ありがとうございます。個人的には教師像の部分を、もっと詳しく知りたかったです。普通学級のあり方を見直す時期、教師による温度差の解消、校内でも共有していきたいと思いました。
・特別支援における沖縄県での指導の動き、就学支援における動き、また特別支援研究会と評議員会における運営などについての動きなど、今後の特別支援では様々な問題が予想されるだろうと危惧している中、特別支援学校、支援学級、通級における役割分担を再度明確に示し解説していただき分かりやすかったです。
・特別支援学校が今後も沖縄県では増設されていく中、本格的に専門的な特別支援研究を行い小中学校の窮状に助言を与えていくような研究会運営を希望している立場として、今後も特支だけでなく通常学級を掛け持ちしながら教科指導して実際に困っている通常担当の先生方や保護者、子ども達のキャリア教育のための相談など幼小中高共に負担の掛け合いではない連携した教育実践、研究の場となることへの助言となった講演会だったと思います。実際の特支学校での研究過程と小中の現状があまりにも違いすぎ、現場を助けていくセンター的機能の発揮はとても重要だと思います。今後の文科省の指導にも興味関心をもち、更に専門的に学んでいきたいと再度思える良い機会となりました。本日は沖縄まで足をお運び下さり、大変感謝いたします。また、様々な資料や判断材料なども教えていただきありがとうございました。今後は是非小中学校の特別支援学級や通常学級への構造的な改革など検討していただきたいです。特別支援学校の様に特別支援学級と通常学級を専科の教諭で本来の授業として受け持つことはできないか？特支のノウハウを通常学級への指導につなげることはできないか？など、小中の連携だけでは解決できない現場の実態を見ていただきたいです。今年一番の講演内容でした。ありがとうございました。
・中学校の知的学級担任です。沖縄県教育委員会が各学校の知的学級担任に、当該学年の学習内容を指導することを求めていると聞き、それに対して、加藤先生は、どのようにお考えになるかを知りたいです。私は、知的な遅れのある生徒達なので、各生徒の段階に応じた学習内容を指導しています。中学3年生でも、小学3年生の内容を理解できない生徒がいます。それなのに、当該学年の指導をすべきでしょうか？ぜひ、ご回答いただきたいです。
・要望です。
知的の教育課程用の調査書を作っていただきたい。
講話でもおっしゃられておりましたように、卒業すると「大学受験の資格があります」。それならば、なぜ、知的の教育課程用の調査書がないのでしょうか？知的障害の生徒さんたちは評定がありません。私たちはいちいち大学・専門学校側に既存の「調査書」が作成できない旨を伝え、話し合い・確認の上で学校独自の様式で学習についての記録を提出しています。文科省が様式を提示することで、大学側にも知的障害の生徒たちも受検してくることが周知できますし、送り出すこちら側の負担も軽減されますので、早急に整備されることを願います。
・強度行動障害について、現在担当している児童について、自傷行為等の対応で悩んでいました。自傷行為の前後をしっ

かり観察記録するなど改善に向けてまず出来ることに取り組もうと思いました。また、保護者からは強度行動障害を理由にショートステイなどの受け入れ先が見つからないと相談がありました。児童には兄弟がおり、その兄弟の対応も含め保護者への負担が年々増しているのが目に見えて分かります。それでも、明るく過ごしている保護者をみると何とかしてあげたいと思うのですが....。現状、沖縄県北部・中部地区では保護者も私自身も手詰まりの状態です。何か手がかりになるような、情報をご存じでしたらよろしくお願い致します。(教育というより福祉の話で申し訳ありません)

・マイクが籠ってて聞き取りにくかったのが残念でしたが資料を見ながらでしたので勉強になる部分が沢山あり感謝です。ダウン症のお子さんが中学校で通常学級の措置替えを希望している例があります。保護者の意見が大きいため児童も保護者の意見寄りですが、支援学級が自分にはあっていると思っている状況があります。最終的には教育委員会が決定するとあるので担任として希望を見いだしその意見を通して欲しくは無いのですが、最終的には保護者意見が大優先されるのかと思っている部分が拭えません。

・中学校の自閉・情緒障害学級での授業について、50%以上の授業を支援学級で行った場合、学校自体マンパワーが確保できていないこともあるのだが、通常授業と同様の内容で、五教科すべてで応援の先生方に行ってもらうことは厳しい状況で、また時間割の都合上、その時間に通常学級と同じ科目を行うことも難しい。そういう状況もあって生徒も支援学級での授業を(授業内容が遅れるという理由で)嫌がる傾向もある。そういう場合どういった取り組みができるのか参考例やアドバイス等がありましたらお願いします。

・質問でもあったように、特別支援学校では生活単元がなくなりつつあるけど、支援学級でやる必要について知りたい。なくなることに意味があるはず。そこの部分の返答がよく意味が分からなかった。研修ありがとうございました。

・特別支援教育に関する現状について、とても勉強になりました。特別支援学校高等部に在籍していますが、他校種（小学校や中学校）、支援学級、訪問学級など、広く「特別支援教育」について考える必要があることを再認識しました。
閉会後ですみませんが、1点質問があります。現在☆本は5（中学部2段階）までありますが、高等部段階の☆本は作成の予定があるのでしょうか？

・今日は、ありがとうございました。国の今後の方針や、合わせた指導についての質問の答えがわかりやすかったです。
また、ウェルビーイングのところで、教師自身の幸福感がありましたが、中学校の頑張っている特支担任は職場で何らかの孤独感を抱えていると思います（職場の人はいい人たちでも）。昨今の教員不足もあり、特支の生徒たちも少数派として切り捨てられ感が否めません。特性のある子どもたちが大切にされ、自己肯定感を高めて生き生きとできる学校は、他の生徒にとっても生きやすい安心な楽しい学校だと思います。ぜひ、もっと現状を伝えていただき、やりがいを持って健康に頑張れる特別支援の教師が増えるような仕組みづくりをお願いします

・特別支援教育の必要な子どもたちが増加する中、地域の特別支援教育人材育成が遅々として進んでいないように感じます。本来なら、人材育成の主体となるべき教育委員会が様々な手法を駆使してほしいものですが、相変わらず旧態依然とした対応に失望しかけています。是非、文部科学省からのお導きのほどよろしくお願いいたします。

・加藤先生のかりゆしワンピースにての登壇に心温まり、興味深く視聴することができました。沖縄や他県と比較しての特別支援教育や県内の実情を分かりやすく伝えていただき大変参考になりました。「知識は後からついてくる。同僚性も大事だよ。」とおっしゃっている一言も印象に残っています。分からないことは同僚とコミュニケーションを図りながら聞いていく重要性を痛切に感じています。そして現場で日々学びながら、こども達の幸せ・自立に向けた支援につながる授業を展開できたらいいなと思っています。 今日は貴重な記念講演ありがとうございました。

・特別支援教育の理論から特別支援教育の現状と目指す方向性、求められる教師像について理解が深まりました。求められる教師像についてのお話では、教師の影響力についてのお話がありました。子どもたちにとってよりよい存在となれるよう、今日ご提示のあったチェックリストをもとに自身の日頃の実践を振り返ってみたい。

・この度は貴重なお話ありがとうございました。夏季休業中を利用して資料を振り返り、2 学期以降の学級経営に生かしていきたいと思います。初年度で分からない事ばかりなので、是非参考にしたいと思います。

・今日は、特別支援に関する様々な情報が得られました。まだ、理解が十分にできていない部分もありますが、資料を読み直したいと思います。加藤先生、お忙しい中、はるばる沖縄まで講演に来て下さりありがとうございます。

・求められる教師像を夏休みに見直して、振り返り、夏休み明け、教師自身も良い心も身体の状態で迎えたいです。
・資料も見やすく、学びたかった内容で分かりやすく良かったです。
・講演では、現状と課題、学びの提供など参考になることが沢山ありました。校内も見学させて頂いて、教室の環境や自立活動の教材なども参考になることがありました。ありがとうございました。
・特別支援教育の現状や方向性、私たちが目指す教師像など多くのことを学ぶことができました。特に、初めて特別支援学級の担当を任されたときの話がとても印象に残りました。ありがとうございました。
・たくさんの資料をありがとうございます。学校職員と共有して特別支援教育の推進に努めていきたいと思います。
・特別支援教育が目指すものの全体像を詳しくご説明いただけてわかりやすかったです。
・お疲れ様でした。次回は事例を多めにしてもらえるとうれしいです。ありがとうございました。
・ありがとうございました♪
・たくさんの資料提供ありがとうございました。夏休み中に勉強したいと思います。
・職員室での環境などが働く環境作りが大切と感じました。
・法的な説明があり、わかりやすかったです。ありがとうございました。
・今日の話を聞いて、コーディネーターとして色々考えさせられました。また頑張って行こうと思えました。
・落ち着いて学ぶための環境づくりのヒントや ICT 活用の事例が参考になりました。
・児童理解や環境作りのヒントなど参考になりました。ありがとうございました。
・改めて、子どもたちとしっかりと向き合いながら日々を過ごしたいと感じることができました。また2学期からの生活が楽しみです。素晴らしい講話をありがとうございました !!
・良い学びの時間でした。ありがとうございました。
・具体的な例や文科省で出されているものを分かりやすく説明していただき、勉強になりました。今後の教育活動で活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
・特別支援教育の理念、現状、動向と方向性、求められる教師像と幅広いたくさんの情報ありがとうございました。どれもこれも為になる情報ばかりで、今後の教員生活に活かせる内容でした。貴重なご講演ありがとうございました。
・とても勉強になりました。ありがとうございました。
・ありがとうございました。今回の研修を今後の支援に活用していきたいと思います。
・とても勉強になりました。ありがとうございました。
・強度行動障害にあたる生徒と昨年度一緒に過ごしていました。今回お話に出ていたので、今後も知識を増やし、生徒たちにあった学びの場を考えて行けたらと思います。今日は、ありがとうございました。
・とても理解しやすかったです。今後の指導に生かしたいと思います。
・たくさんの参考資料があり、勉強になりました。ありがとうございました。
・加藤先生のお話で吃音に関するチェックリスト、教育支援に関する学びの見直し、5歳児健診の情報等、たくさん勉強させていただきました。
・今回の記念講演を拝聴して、これまでに関わってきた子供達の姿が目に浮かびました。特別支援教育の理念から始まり、目指す教育までと、改めて深く深く学んでいかなければならないと痛感しました。子どもに寄り添い可能性を信じて共に学んでいきたいと思います。ありがとうございました。
・国の動向や特別支援教育の考え方、教員としての基本等改めて意識することができ、良い機会になった。ありがとうございました。
・児童生徒の実態や特性によっては、合わせた指導（生活単元学習）を実施しても良いことが分かったので、生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、個に応じた適切な指導の充実を図ることができるよう自己研鑽に励みたいと思いました。
・加藤調査官、本日はありがとうございました。子どもたちの学びの充実に向け、何ができるのか、何よりも私たちの専門性をしっかりと身につけて関わっていきたいと、改めて思いました。
・盛りだくさんの情報ありがとうございました。QR コードなど添付くださりありがとうございました。研修後に情報収集した

いと思います。
・沖縄県の現状から目指すべき教師像まで講演して頂き、初めての特別支援を担当する私にとって有意義な講演会でした。ありがとうございました。
・遠く沖縄までお越しいただき誠にありがとうございました。今回の講演で気付いたこと、改めて確認出来たことを2学期に生かしていきたいと思います。かりゆしとても素敵でした☆
・子どもの実態を正しく把握し、学びの場を柔軟に変えていく必要があると知ることができました。また、子どもたちが安心して学校に通い、居心地の良い場所だと感じることができるような基礎的環境整備をすることが重要であると学びました。
・たくさんの資料や基本的で大切な情報をいただけて、ありがたいです。
・講演を聞いて、これまでの子ども達への関わり方について振り返ることができました。
子ども達が安心して楽しく学校生活を送ることができるようにするためには、どうしたらいいのかを考えることができました。私たち大人がゆとりを持って、職員や保護者と連携していくことが大切だと感じました。
今日の講演で学んだことを活かして 2 学期もがんばっていきたいです。
ありがとうございました。
・記念講演に参加させていただきありがとうございました。特別支援教育が特別でなくなる事が大事だと、特別支援学級を担っている立場として支援学級の在り方をうまく学校全体にアピールしながら職員の理解を図る責任があると改めて感じました。多くの気づきをありがとうございました。
・貴重なお話ありがとうございました。
・特別支援教育の概念、学びの場について詳しく説明して下さったのでわかりやすかった。実践事例も聞きたかったです。
・学びの場の決定は慎重にすること、そしてその子の成長に合わせて見直していくことを再確認しました。ひとりの子の将来の生き方に関わることなのでチームで考えていきたいと思います。
・特別支援教育の現状や課題を改めて認識することができました。
・支援校向け、小中学校向け、両方に配慮した内容で、焦点化が難しそうでした。会場の質問から、特別な教育課程の編成を理解できていない職員もいると思われることから、小中学校向けの講話内容に重点を置く必要も感じました。

【総会や運営についてのご意見・ご感想】

・研究大会の分科会の持ち方で、前年度までの意見が、今年度へどう改善されているか、もっと具体的に知りたいと思いました。
・沖特研は、特支校中心に運営や発表をしていただき、小中は、任意で勉強させてほしいです。そもそも体制が違いすぎて、同じように割り振られてもできません。
・最後の質問の 1～5 ですが、何を表しているのかがわかりませんでした。1 とてもよかった 2 よかった 3普通 4 あまり良くなかった 5 良くなかった でしょうか。それとも、逆でしょうか。
・総会と併せて参加すると、ちょっときつい感じがしました。（時間的にも、集中的にも）
離島地区としては、想像以上に手間がかかるハイブリッド開催に感謝です。事務局校及び会場校のみなさんお疲れ様でした！
・ご準備ありがとうございました。
・オンライン配信や会場設営などありがとうございます。
・事務局や係の方々お疲れ様でした。
・係の皆様、多くの参加者に呼びかけ、準備、実施本当にお疲れ様でした。名護特の代表として頑張ってくれてありがとうございます。
・運営の先生方お疲れ様でした。オンラインも問題なく視聴できました。
・たくさんの準備等ありがとうございました !!
・オンラインで参加できることによって遠方でも参加しやすいので良かったです。
・準備や運営等、お疲れ様でした。
・事務局につきましては、多忙の中、準備から運営まで、本当にお疲れさまでした。
・長期間にわたる準備や調整等お疲れ様でした。ありがとうございました。

・準備から当日の運営等、お疲れさまでした。
・会場で準備にあたった先生方お疲れ様でした。
・本年度の運営や総会準備など大変ご苦労があっただろうと想像します。いつもありがとうございます。
・運営お疲れ様でした.
・長期間に渡る準備や取り組み、大変お疲れさまでした。
・お疲れ様でした。ズームでの講演会視聴が初めてで、接続に少し時間かかりましたが、参加でき良かったです。ありがとうございました。
・丁寧な総会資料や運営お疲れ様でした。連日資料作成や企画・運営本当にお疲れ様です。ありがとうございます。
・今回の様な決議方法で良いと思います。
・校外での開会準備等お疲れ様です。
・事務局の皆様におかれましては、総会・講演会と企画運営、準備に大変感謝申し上げます。大変お疲れ様でした。